

事務事業名	7241 生涯学習事業													
担当組織	教育委員会 生涯学習課								担当	生涯学習担当				
組織コード	H30	62	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	10	04	01	03	01	記入日	平成30年06月01日
	H29	62	10	00		H29	01	10	04	01	03	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補
基本目標	01	子どもの成長と生涯にわたる学びのまち										● 対象 ○ 対象外
分野	04	生涯学習										
施策	10	生涯学習活動の促進										
事業期間	平成17年度～平成32年度											
根拠法令 通達等	社会教育法				関連計画 施政方針	戸田市生涯学習推進計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの											
対象	生涯学習活動を希望する市民、団体											
事業目的	生涯学習の振興、推進を図る。											
事業内容	各種生涯学習に関する講座・教室。人材の森への講師登録者などの生涯学習に関する情報提供。PTA連合会等への補助金の交付及び家庭教育学級事業への助言・補助。子育て講演会や親の学習事業などの実施。生涯学習施設の管理、貸出。											
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()											

2. 実施結果

		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	事業内容	生涯学習事業 生涯学習施設 管理等	生涯学習事業 生涯学習施設 管理等	生涯学習事業 生涯学習施設 管理等	生涯学習事業 生涯学習施設 管理等	生涯学習事業 生涯学習施設 管理等	
	事業費	17,854	19,451	22,698	22,698	22,698	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	7	7	13	13	13
		一般財源	17,847	19,444	22,685	22,685	22,685
	人件費	7,448.76	7,448.76	7,448.76	7,448.76	7,448.76	
	投入 人員	常勤職員	1.08人	1.08人	1.08人	1.08人	1.08人
		非常勤職員	0.29人	0.29人	0.29人	0.29人	0.29人
事業費+人件費		25,303	26,900	30,147	30,147	30,147	

目標達成 状況	指標名	単位	説明・算定式	H28目標	H29目標	H30目標
				H28実績	H29実績	H30実績
活動①	講座開設数	件	年度中の講座開設数	130	130	130
				190	243	—
活動②	芦原小学校生涯学習施設開設日数	日	年度中の施設開設日数		359	359
				359	359	—
成果①	生涯学習に関する講座・会議等の参加者数	人	年度中の講座等参加者数	6,500	6,500	6,500
				9,227	12,021	—
成果②	芦原小学校生涯学習施設利用者数	人	年度中の施設利用者数		7,500	7,500
				7,576	7,555	—

目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> いずれも目標を達成した。生涯学習に関する講座・会議等の参加者数は、広報、ホームページに加え、SNSの活用など積極的に周知を実施した結果、目標を達成することができた。					
-------------------	---	--	--	--	--	--

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> まちづくり出前講座実施回数の増加に加え、子育て講演会では託児室を設け、参加しやすい環境づくりに努め、生涯学習活動の促進に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 入札による委託事業者の決定など事業の実施にあたっての経費は、概ね適正に執行している。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 市民が学習する場へ市職員が講師として出向くまちづくり出前講座や、講師や指導者を必要としている市民に、地域の様々な知識・技能を持った人の情報提供を行う戸田人材の森など市民の学習活動に効果的である。また、協働推進課所管の女性人材リストとの統合により、事業手法の工夫を行い利便性が向上した。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	C：受益・負担の一部に見直しが必要である。
	C	C	C	<判断理由> 講座の費用は無料であるため、受益者負担については、今後の課題となっている。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	人材バンクについて、協働推進課の女性人材リストを統合した。
見直しの効果	統合したことで、利用者の利便性を高めるとともに業務の効率化を図った。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 引き続き第4次戸田市生涯学習推進計画に基づき生涯学習事業を推進していく。
今後の取組方針	平成29年度から平成33年度までを計画期間とする第4次戸田市生涯学習推進計画に基づき、市民の主体的な学びを支援する生涯学習事業を推進していく。

事務事業名	27783 市民大学事業													
担当組織	教育委員会				生涯学習課				担当	生涯学習担当				
組織コード	H30	62	10	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	10	04	01	03	02	記入日	平成30年06月01日
	H29	62	10	00		H29	01	10	04	01	03	02		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	● 対象 ○ 対象外
分野	04 生涯学習	
施策	10 生涯学習活動の促進	
事業期間	平成20年度～平成32年度	
根拠法令 通達等	関連計画 施政方針	戸田市生涯学習推進計画
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象	市内在住・在勤・在学者	
事業目的	学ぶ楽しさと活動する喜びのあふれる町づくりを推進し、学習意欲のあるすべての戸田市民に開かれ、市民の自己教育力を高めるとともに人材育成の場とする。併せて協働によるまちづくりの推進や教育水準の向上に寄与する。	
事業内容	時代と社会の要請に即応し、戸田の地域性や方向性を考慮したテーマや課題を掘り起こし、多様な学習機会を提供する。また、市民の高い学習ニーズに応えるため、大学と連携した講座やICT（情報通信技術）を導入した遠隔型の講座を開催する。	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
	事業費		1,113	1,783	1,868	1,868	1,868	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	一般財源		1,113	1,783	1,868	1,868	1,868	
	人件費		3,586.44	3,586.44	3,586.44	3,586.44	3,586.44	
	投入 人員	常勤職員	0.52人	0.52人	0.52人	0.52人	0.52人	
		非常勤職員	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	
事業費+人件費		4,699	5,369	5,454	5,454	5,454		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動①	講座数	講座			7	9	9
		講座開催回数	回			10	10	—
	活動②	講座開催回数	回			27	28	24
		講座申込人数	人			28	34	—
	成果①	講座申込人数	人			800	1,000	1,000
講座出席率		%			1,250	1,583	—	
成果②	講座出席率	%			80	80	80	
	講座出席率	%			80	80	—	
目標達成 状況 の分析	A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 平成29年度は新たな市民大学認定講座を開催したこともあり、活動・成果ともに達成に至った。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 産官学民と連携した講座や市民企画講座の実施など、講座内容の充実に努め、市民の学習意欲の向上に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 講師料は、調整を図り精査が十分になされている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。
	A	A	A	<判断理由> 講座の形式においては、講義形式のみならず、グループワークなども取り入れ市民に多様な学習の場を提供した。また、講座の企画や運営に市民が参加できる機会を設け主体的に学ぶ工夫を実施した。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	C：受益・負担の一部に見直しが必要である。
	C	C	C	<判断理由> 講座の費用は無料であるため、受益者負担は今後の課題となっている。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	<p>講座の周知方法については、従来の市広報、ホームページに加え、フェイスブック等のSNSも積極的に活用した。また、講座の申し込み方法については、QRコードからホームページ、さらには申込みフォームへ誘導することで、申し込み機会の拡大を図った。</p> <p>新規講座として、民間と連携し、受講後に一定の要件を満たした際には、講師や補助者となる「経済教育マイスター」へとつながる経済教育入門講座を新たに開催した。</p>
見直しの効果	新規受講者の増加とともに、受付事務の効率化を図ることができた。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> 引き続き積極的に講座情報等を発信していく。
今後の取組方針	第4次戸田市生涯学習推進計画に基づき、市民大学の充実に図り、産官学民と連携した講座の実施を推進していく。